

「市川三郷町 六郷の里 つむぎの湯・いきいきセンター」
経営状況について

令和 7 年 1 2 月
山梨県市川三郷町
いきいき健康課

目次

1	概要	1
(1)	設置の目的	1
(2)	つむぎの湯の良いところ	1
(3)	施設情報	2
(4)	建築経過	3
(5)	物件情報等	3
(6)	物件写真	4
2	利用客の状況	17
(1)	入館者数	17
(2)	施設利用料	18
(3)	利用者1人当たり単価	19
3	決算状況	20
(1)	事業費(平成15年7月オープンまで)	20
(2)	これまでの経過	21
(3)	収支状況	27
4	収支推移	32
(1)	収入	32
(2)	支出	33
(3)	収支	34
5	つむぎの湯・いきいきセンターの設備の状況～修繕費の推移	35
(1)	主要設備の耐用年数	35
(2)	主要設備の修理履歴	36
(3)	修繕費・工事請負費の推移(実績)	37
(4)	今後見込まれる修繕費・工事請負費	38
6	運営実態	39
(1)	つむぎの湯・いきいきセンターの運営実態	39
(2)	つむぎの湯いきいきセンターの運営の課題	40

1 概要

(1) 設置の目的

六郷の里 つむぎの湯・いきいきセンターは、町民の健康・福祉増進と町の活性化に資するため、いきいきセンターは「産業・文化の振興、住民生活の改善、健康増進、福祉の向上等を図り、地域の活性化を効果的に推進する」ために、平成15年11月にオープンしました。

入浴を通じて地域住民はもとより、町内外問わず、気軽に足を運べるコミュニケーションの場として多くの方に利用されています。

(2) つむぎの湯・いきいきセンターの良いところ

○ つむぎの湯

- ・ 浴槽は、内風呂（大・小）、露天風呂、歩行浴槽（水着着用）の4種類で構成されています。
- ・ 源泉の湯量は豊富でないものの、内風呂（小）は、ぬるま湯（34℃前後）で長く浸かることにより、湯上り後もぽかぽかし、温まる湯として親しまれています。
- ・ 水着の着用が必要となるが、県内では珍しい歩行浴槽（一周20m、深さ1.2m）があり、町民の健康に寄与しています。
- ・ 休憩室も広く、飲食物の持ち込みが可能となっている点も、利用者の選ばれる点となっております。
- ・ 定期的に温泉を利用することにより、交流や外出が促進され、閉じこもりの予防や心のリフレッシュができ、ねたきりや介護予防の期待ができます。
- ・ 温泉が町内外問わずつどいの場となることに期待ができます。
- ・ 温泉を通じ、コミュニケーションや社会関係の広がりに期待ができます。
- ・ 入浴や歩行浴により、血行を促進し筋肉をやわらげ、間接の可動域が広がり、生活空間のひろがりがもてるに期待ができます。
- ・ 入浴や歩行浴により、呼吸、循環系の活性化を促し疾病の改善予防につながりに期待ができます。
- ・ 町の最南端の入り口として、町外の方に本町の訪問を促す役割に期待ができます。

○ いきいきセンター

- ・ 農産物直販や、花火・印章といった産業の展示、また会議室（和室）等があり、貸館として利用することができます。
- ・ また、部屋の貸出がない場合は、臨時休憩室として開放しています。

(3) 施設情報

- ① 設置年 平成15年11月(2003年)
- ② 所在地 市川三郷町鴨狩津向 640番地
- ③ 構造 鉄筋コンクリート造 平屋建て
- ④ 施設内容 【つむぎの湯部分】

和室 20帖×2、男女脱衣所、男女脱衣所トイレ、内風呂(大)×2、内風呂(小)×2、露天風呂×2、歩行浴槽(男女兼用)、機械室

【いきいきセンター部分】

健康増進室、特産物展示コーナー、多目的室、調理実習室、食品庫、トイレ、ロッカー、倉庫、和室 20帖×2

【つむぎの湯いきいきセンター共用】

エントランス、ホール、事務室、倉庫、男女トイレ、多目的トイレ

- ⑤ 営業時間 午前11時から午後7時まで

- ⑥ 休館日 月、火曜日・水曜日(祝日は開館の場合あり), 12月31日～1月1日

※営業実績 H29_310日

H30_311日

R1_299日

R2_17日

R3_311日

R4_309日

R5_288日

R6_266日

- ⑦ 利用料金
- ・現行利用料金

入場1人1回	町内 大人	500円、小人	350円
	町外 大人	800円、小人	400円
回数券	町内 大人	5,000円、小人	3,500円
(11回券)	町外 大人	8,000円、小人	4,000円

・旧利用料金(～令和6年9月)

入浴のみ	町内 大人	300円	小人	200円
	町外 大人	500円	小人	300円
入浴・休憩	町内 大人	500円	小人	300円
	町外 大人	700円	小人	400円

(4) 建築経過

平成15年度 11月開館

(5) 物件情報等

① アクセス

お車 中部横断自動車道六郷 IC より約5分

電車 JR 身延線・甲斐岩間駅下車徒歩約25分

② 住所等

〒409-3242

山梨県西八代郡市川三郷町鴨狩津向 640 番地

TEL 0556-20-2651

URL <https://www.town.ichikawamisato.yamanashi.jp/50sightsee/50guide/tsumuginoyu.html>

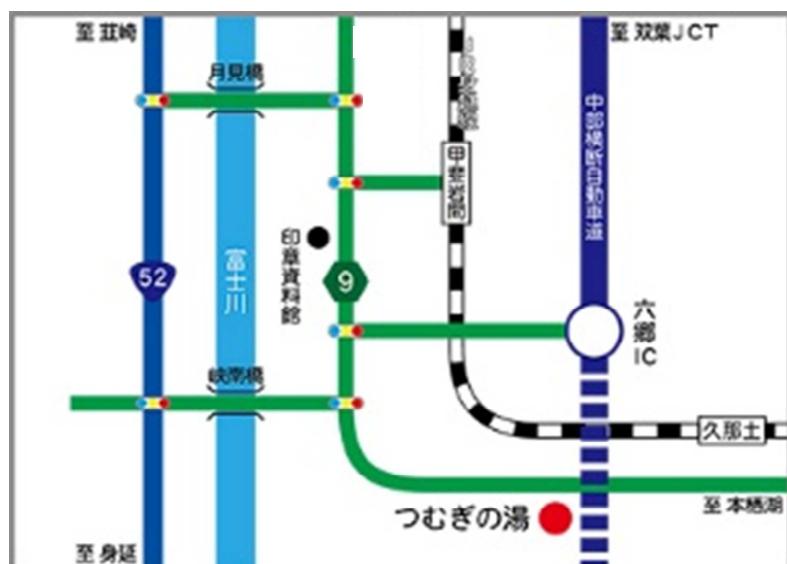


図1 アクセスマップ

(6) 物件写真

① 外観



② 玄関



③ 受付



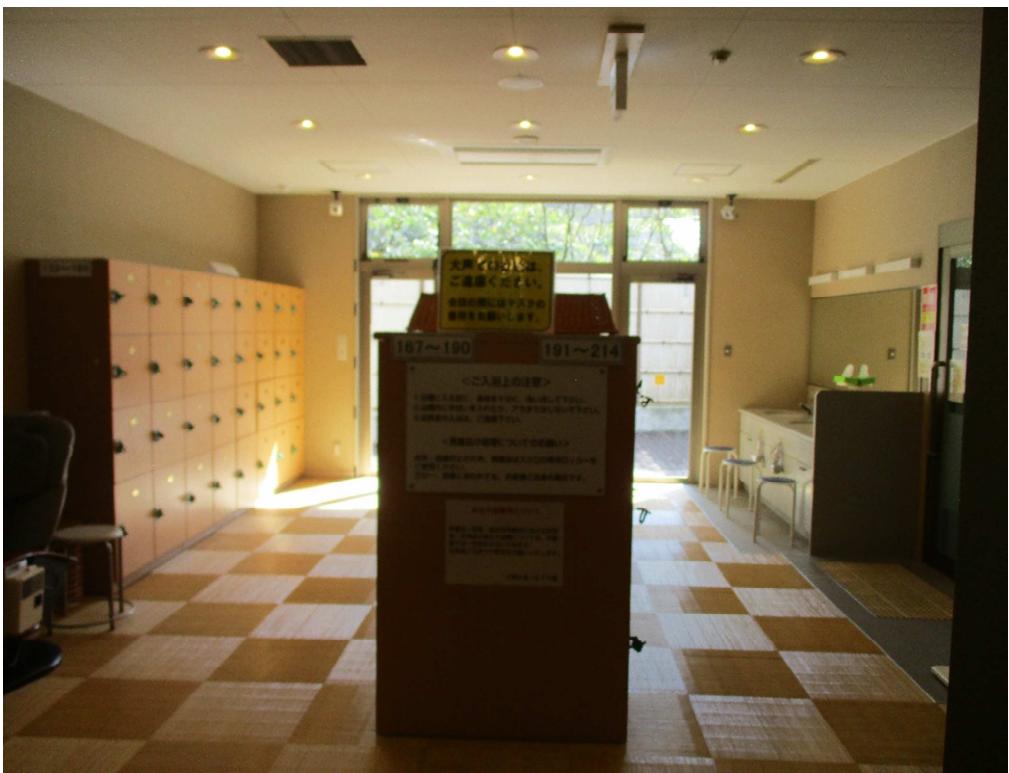
④ 休憩室 (40 帖 20 帖 2 部屋にセパレート可能)



⑤ 脱衣所入口



⑥ 男性脱衣所



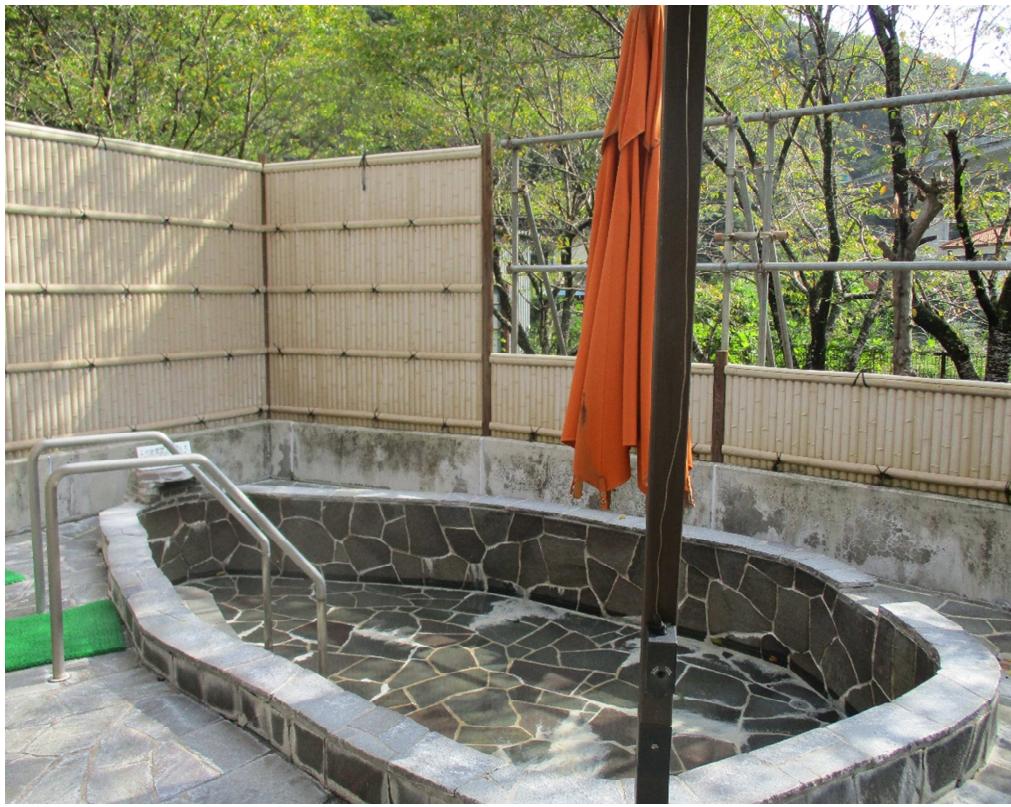
⑦ 男性浴室 洗い場



⑧ 男性浴室 内風呂（大・小）



⑨ 男性浴室 露天風呂



⑩ 歩行浴槽 (リハビリ浴槽)



⑪ 女性脱衣所



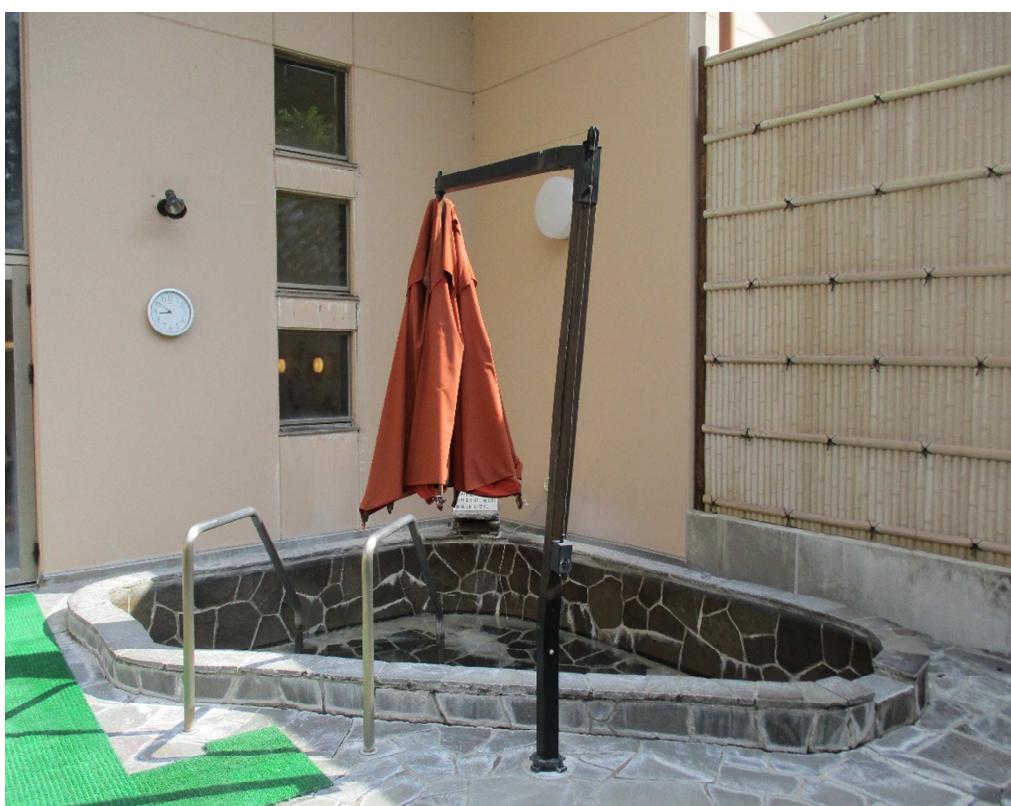
⑫ 女性浴室 洗い場



⑬ 女性浴室 内風呂（大・小）



⑭ 女性浴室 露天風呂



⑯ 特産物物産コーナー



⑯ 健康増進室



⑯ 多目的室



⑰ 会議室 1 (和室 20 帖) 会議室 2 と合わせて 40 帖に開放可能



⑯ 会議室 2 (和室 20 帖) 会議室 1 と合わせて 40 帖に開放可能



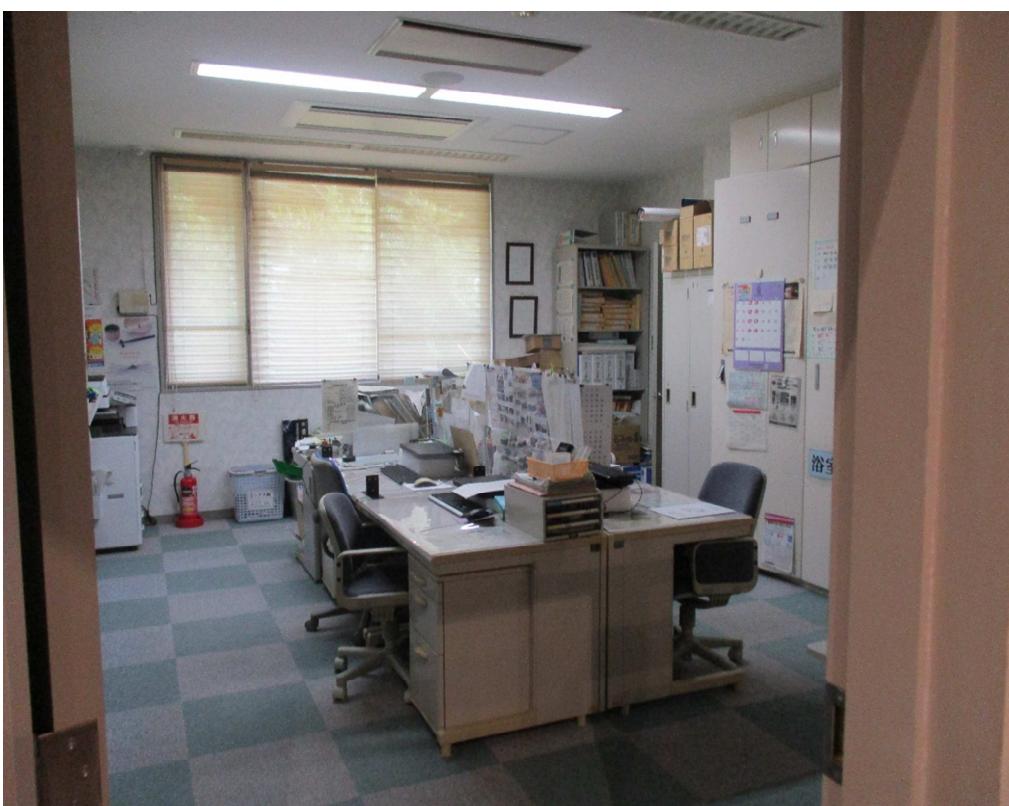
⑰ 調理実習室



㉑ 機械室



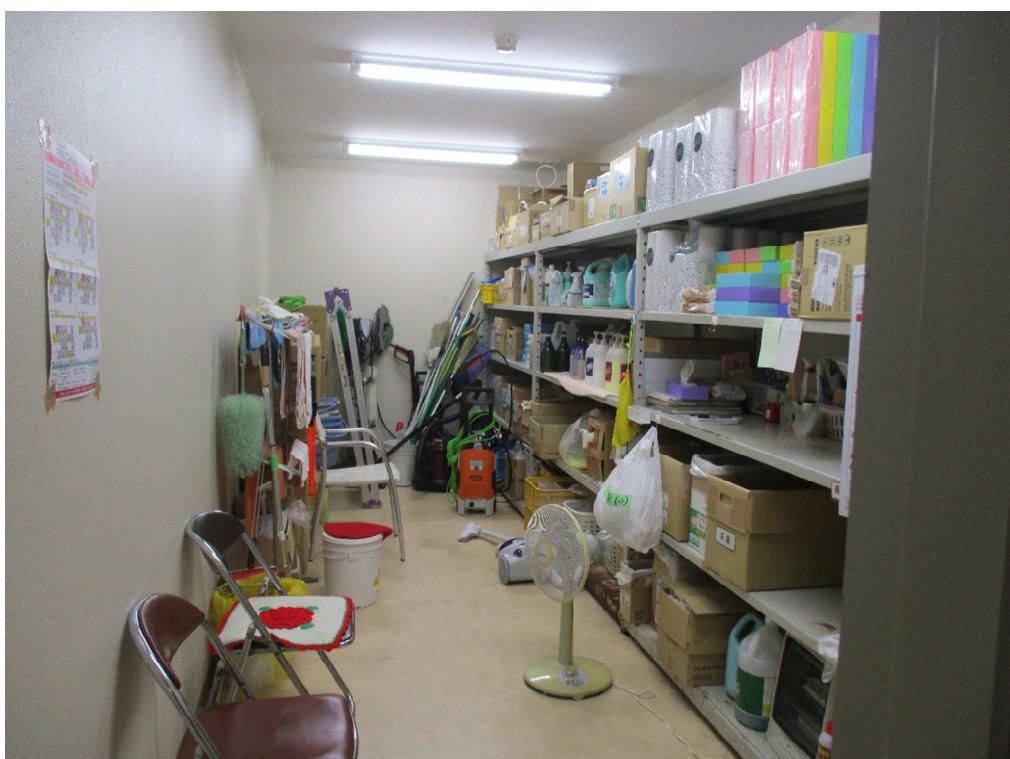
㉒ 事務室



㉓ 倉庫 1



㉔ 倉庫 2



㉕ 食品庫



2 利用客の状況

(1) 入館者数

平成 16 年度～令和元年度までは、入館者数は 6 万 726 人から 8 万 3,445 人の間で推移していたが、令和 2 年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、令和 3 年度 4 万 823 人、令和 4 年度 4 万 9,865 人、令和 5 年度 5 万 2,619 人、令和 5 年度は 3 万 7,855 人となっている。

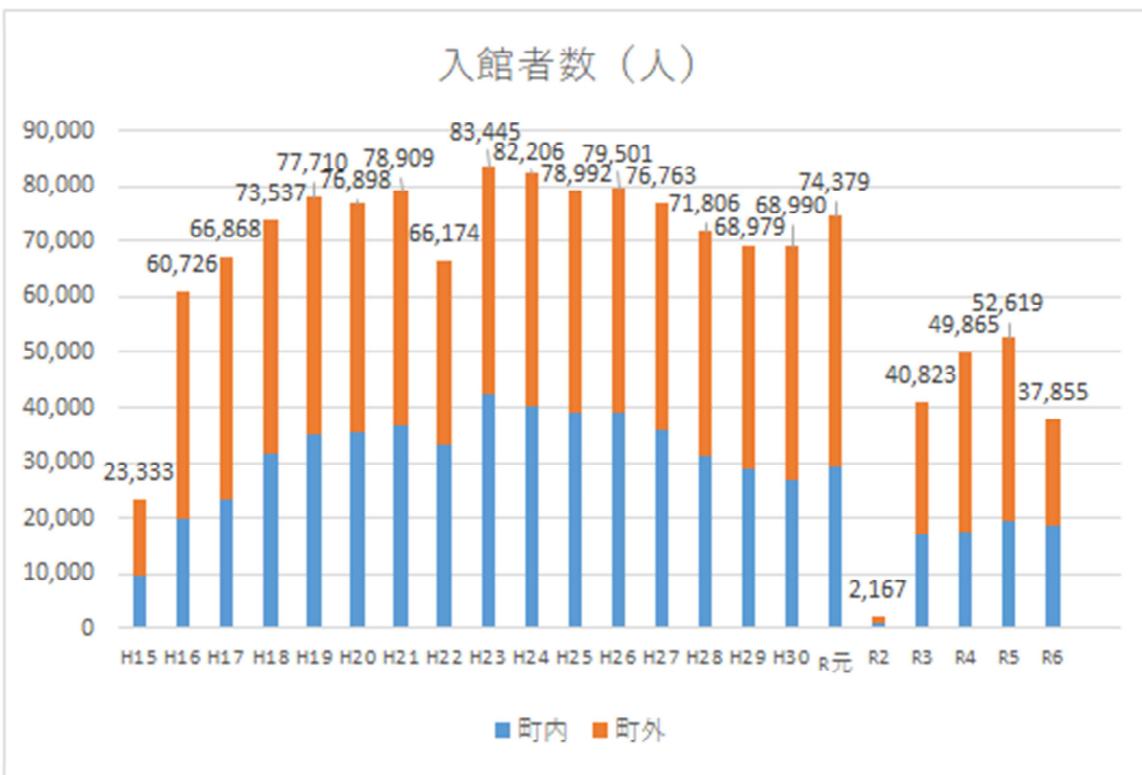


図 2 入館者数推移

※令和 2 年 3 月 12 日～令和 5 年 5 月 7 日まで 2 時間短縮開館

(午前 11 時から午後 7 時まで 8 時間開館)

※令和 5 年 5 月 9 日～令和 6 年 1 月 8 日まで通常開館

(午前 10 時から午後 8 時 10 時間開館)

※令和 6 年 1 月 9 日以降、2 時間短縮開館及び休館日の追加

(午前 11 時から午後 7 時まで 8 時間開館、週休 1 日 ⇒ 2 日基本)

参考 開館日数

令和 2 年度 17 日 令和 3 年度 311 日 令和 4 年度 309 日

令和 5 年度 288 日 令和 6 年度 266 日

（2）施設利用料

令和元年度までは、おおむね年間 1,400 万円を上回って推移していたが、令和 2 年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、近年は 1,200 万円台を下回って推移している。

10 月に料金改定を行った令和 6 年度は、開館日数は少なくなったが、令和 5 年度とほぼ同額に推移している。

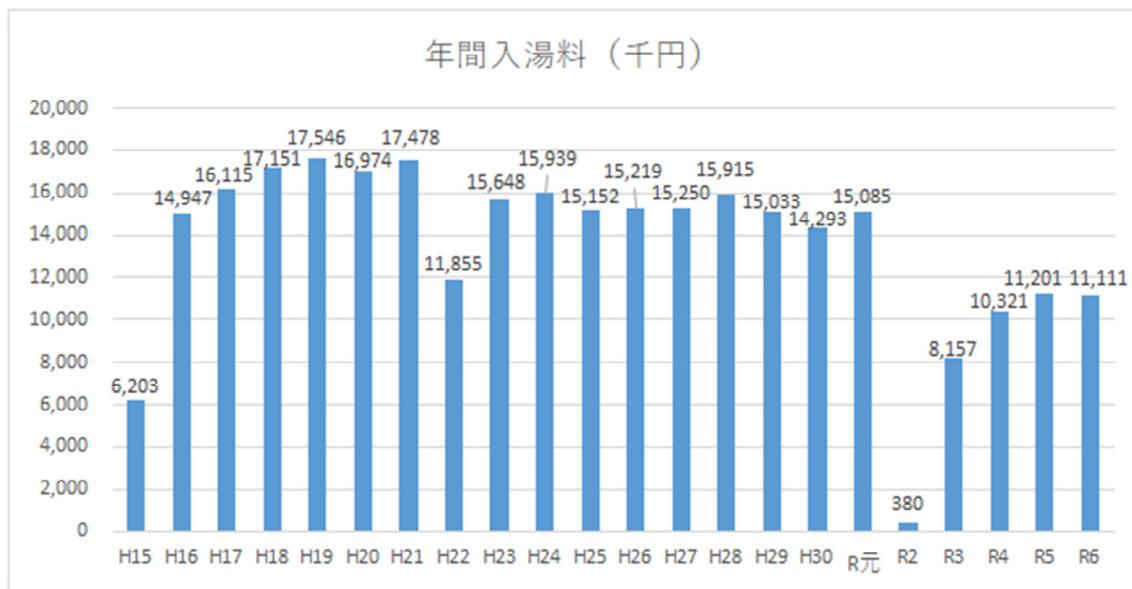


図 3 施設利用料推移

※平成 22 年は、温泉ポンプ系統のトラブルにより、6 ～ 3 月まで源泉停止状態（沸かし湯による銭湯営業）であったため、来館者の減少があり、年間入浴料も平均を下回る形となっている。

※令和 2 年度は空調設備等の大規模改修を行っており、開館日数は 17 日であったため、他の年度に比べ、低くなっている。

(3) 利用者1人当たり単価

平成15年11月の開館から平成17年の新町発足以前は、240円～260円台前であった。

新町発足以降、源泉トラブル発生前の平成21年度までは220円～240円台で推移していた。

平成22年度は、源泉ポンプ系統トラブルにより6～3月まで源泉停止状態（沸かし湯による銭湯運営）により、町内外の利用者の減少及び町外者の減少により、客単価が減少した。

東日本大震災後に3時間料金で1日利用できる「節電・外出記念キャンペーン」を実施した平成23年度から平成27年度までは来館者の増加はあったが、客単価は180円～190円台となっている。

平成28年度以降、大規模改修を実施した令和2年度以外は200円～220円台で推移している。

料金改定を行った令和6年度は、10月からの改定であるが294円となっている。

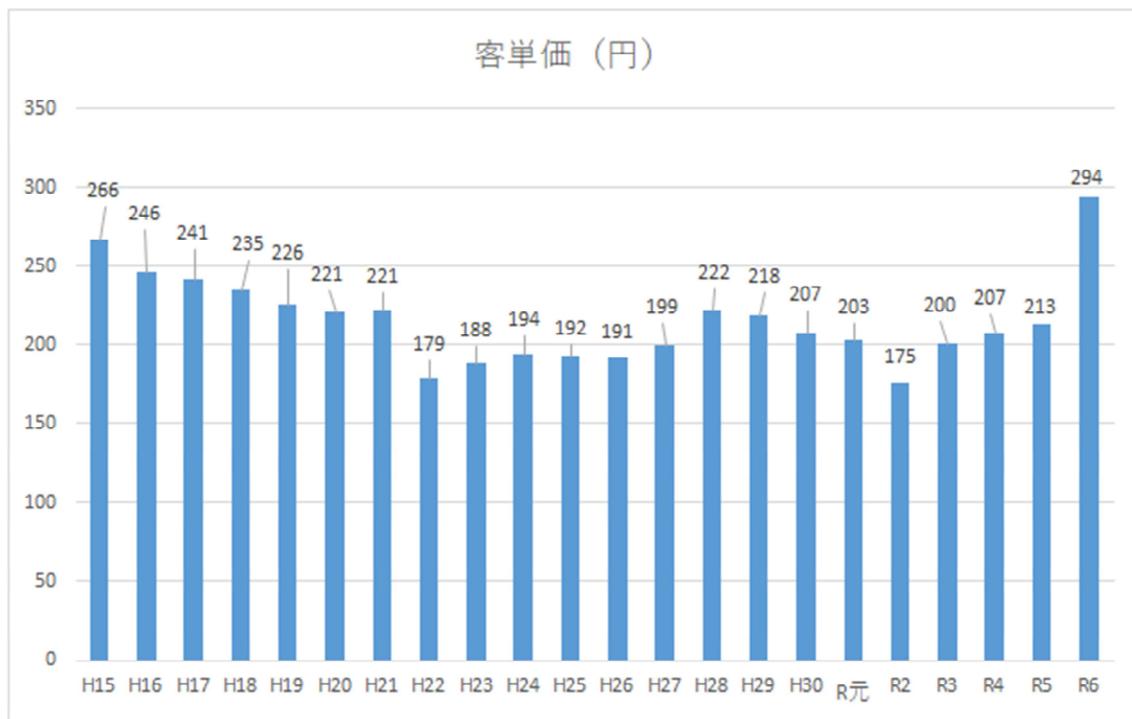


図4 利用者1人当たり単価の推移

3 決算状況（竣工記念パンフレットより）

（1）〈事業費概算（平成15年11月オープンまで）〉（単位：円）

「六郷の里」本体建設工事

（電気工事、設備工事を含む）……500,167,500円

（内）つむぎの湯……………345,211,500円

（内）いきいきセンター……………154,956,000円

「六郷の里」外構工事等

（用地整備、周辺整備工事等）……45,377,000円

町発注 温泉・井戸施設システム工事

（内）つむぎの湯……………59,220,000円

概算合計

604,764,500円

(2) これまでの経過

【2003年（平成15年）】

- ・11月10日オープン
- ・開館日数は、119日 入館者数は、23,333人 日平均196.1人
- ・収入は、入湯料6,203千円・会議室使用料25千円・受託販売等収入1,259千円で、合計7,487千円
- ・支出は、職員等人工費4,918千円、施設管理費18,554千円で、合計23,472千円
- ・収支は、▲15,985千円

【2004年（平成16年）】

- ・開館日数は、310日 入館者数は、60,726人 日平均195.9人
- ・収入は、入湯料14,947千円・会議室使用料92千円・受託販売等収入3,676千円で、合計18,715千円
- ・支出は、職員等人工費13,020千円、施設管理費55,580千円で、合計68,600千円
- ・収支は、▲49,885千円

【2005年（平成17年度）】

- ・開館日数は、305日 入館者数は、66,868人 日平均219.2人。
- ・収入は、入湯料16,115千円・会議室使用料77千円・受託販売等収入3,452千円で、合計19,644千円
- ・支出は、職員等人工費14,430千円、施設管理費51,313千円で、合計65,743千円
- ・収支は、▲46,099千円

【2006年（平成18年度）】

- ・つむぎの湯の専属の正職員を配置
- ・開館日数311日 入館者数は73,537人 日平均236.5人
- ・収入は、入湯料17,151千円・会議室使用料275千円・受託販売等収入3,947千円で、合計21,373千円
- ・支出は、職員等人工費9,205千円、施設管理費56,004千円で、合計65,209千円
- ・収支は、▲43,836千円

【2007年(平成19年度)】

- ・開館日数は315日 入館者数は77,710人 日平均246.7人
- ・収入は、入湯料17,546千円・会議室使用料205千円・受託販売等収入4,214千円で、合計21,965千円
- ・支出は、職員等人工費10,388千円、施設管理費64,026千円で、合計74,414千円
- ・収支は、▲52,449千円

【2008年(平成20年度)】

- ・温泉ポンプ孔内洗浄工事により4～5月が源泉停止状態(沸かし湯による銭湯運営)であった
- ・開館日数は、313日 入館者数は76,898人 日平均245.7人。
- ・収入は、入湯料16,974千円・会議室使用料183千円・受託販売等収入4,079千円で、合計21,236千円
- ・支出は、職員等人工費10,431千円、施設管理費71,654千円で、合計82,085千円
- ・収支は、▲60,849千円

【2009年(平成21年度)】

- ・開館人数311日 入館者数78,909人 日平均253.7人
- ・収入は、入湯料17,478千円・会議室使用料252千円・受託販売等収入4,102千円で、合計21,832千円
- ・支出は、職員等人工費10,385千円、施設管理費52,549千円で、合計62,934千円
- ・収支は、▲41,102千円

【2010年(平成22年度)】

- ・温泉ポンプ系統トラブルにより6～3月まで源泉停止状態(沸かし湯による銭湯運営)であった)
- ・開館人数297日 入館者数66,174人 日平均222.8人
- ・収入は、入湯料11,855千円・会議室使用料144千円・受託販売等収入3,201千円で、合計15,200千円
- ・支出は、職員等人工費10,280千円、施設管理費77,596千円で、合計87,876千円
- ・収支は、▲72,676千円

【2011年(平成23年度)】

- ・つむぎの湯の予算に人件費の計上が始まった。
- ・委託を行っていた受付を、臨時職員募集し採用が始まった。
- ・東日本大震災後に3時間料金で1日利用できる「節電・外出記念キャンペーン」を実施（7月1日より）
- ・開館人数 314日 入館者数 83,445人 日平均 265.7人
- ・収入は、入湯料 15,648千円・会議室使用料 133千円・受託販売等収入 4,175千円で、合計 19,956千円
- ・支出は、職員等入件費 24,956千円、施設管理費 57,879千円で、合計 82,835千円
- ・収支は、▲62,879千円

【2012年(平成24年度)】

- ・「節電・外出記念キャンペーン」を継続実施
- ・開館人数 312日 入館者数 82,206人 日平均 263.5人
- ・収入は、入湯料 15,939千円・会議室使用料 139千円・受託販売等収入 4,296千円で、合計 20,374千円
- ・支出は、職員等入件費 21,856千円、施設管理費 57,100千円で、合計 78,956千円
- ・収支は、▲58,582千円

【2013年(平成25年度)】

- ・「節電・外出記念キャンペーン」を継続実施
- ・開館人数 312日 入館者数 78,992人 日平均 253.2人
- ・収入は、入湯料 15,152千円・会議室使用料 193千円・受託販売等収入 4,023千円で、合計 19,368千円
- ・支出は、職員等入件費 21,718千円、施設管理費 60,128千円で、合計 81,846千円
- ・収支は、▲62,478千円

【2014年(平成26年度)】

- ・「節電・外出記念キャンペーン」を継続実施
- ・開館人数 308日 入館者数 79,501人 日平均 258.1人。
- ・収入は、入湯料 15,219千円・会議室使用料 129千円・受託販売等収入 3,879千円で、合計 19,227千円
- ・支出は、職員等入件費 14,497千円、施設管理費 74,649千円で、合計 89,146千円
- ・収支は、▲69,919千円

【2015年(平成27年度)】

- ・「節電・外出記念キャンペーン」を継続実施
- ・10月に計画的な長期休館とし、施設メンテナンスを行った。
- ・開館人数 294日 入館者数 76,763人 日平均 261.1人
- ・収入は、入湯料 15,250千円・会議室使用料 138千円・受託販売等収入 3,782千円・土地貸付収入 147千円で、合計 19,317千円
- ・支出は、職員等人工費 23,525千円、施設管理費 61,586千円で、合計 85,111千円
- ・収支は、▲65,794千円

【2016年(平成28年度)】

- ・約5年間実施した「節電・外出記念キャンペーン」を終了
- ・中部横断自動車道 増穂-六郷間 開通 (2017.3.29)
- ・開館人数 312日 入館者数 71,806人 日平均 230.1人
- ・収入は、入湯料 15,915千円・会議室使用料 134千円・受託販売等収入 3,039千円・土地貸付収入 147千円で、合計 19,235千円
- ・支出は、職員等人工費 15,728千円、施設管理費 69,375千円で、合計 85,103千円
- ・収支は、▲65,868千円

【2017年(平成29年度)】

- ・開館人数 310日 入館者数 68,979人 日平均 222.5人
- ・収入は、入湯料 15,033千円・会議室使用料 96千円・受託販売等収入 2,765千円・土地貸付収入 147千円で、合計 18,041千円
- ・支出は、職員等人工費 20,753千円、施設管理費 69,696千円で、合計 90,449千円
- ・収支は、▲72,408千円

【2018年(平成30年度)】

- ・中部横断自動車道 富沢-新清水JCT間、下部温泉早川-六郷間 開通 (2019.3.10)
- ・開館人数 311日 入館者数 68,990人 日平均 221.8人
- ・収入は、入湯料 14,293千円・会議室使用料 98千円・受託販売等収入 2,619千円・土地貸付収入 24千円で、合計 17,034千円
- ・支出は、職員等人工費 23,599千円、施設管理費 66,049千円で、合計 89,648千円
- ・収支は、▲72,614千円

【2019年（令和元年度）】

- ・中部横断自動車道 南部-富沢間 開通（2019.11.17）
- ・新型コロナウイルス感染拡大予防対策により、令和2年3月18日より休館
- ・開館人数 299日 入館者数 74,379人 日平均 248.8人
- ・収入は、入湯料 15,085千円・会議室使用料 80千円・受託販売等収入 2,647千円・土地貸付収入 13千円で、合計 17,825千円
- ・支出は、職員等人工費 26,558千円、施設管理費 56,062千円で、合計 82,620千円
- ・収支は、▲64,795千円

【2020年（令和2年度）】

- ・新型コロナウイルス感染拡大予防対策及び空調整備更新工事、施設修繕により長期休館
- ・令和3年3月12日から時間短縮営業
- ・開館人数 17日 入館者数 2,167人 日平均 127.5人
- ・収入は、入湯料 380千円・会議室使用料 0千円・受託販売等収入 495千円・土地貸付収入 13千円で、合計 888千円
- ・支出は、職員等人工費 25,469千円、施設管理費 74,629千円で、合計 100,098千円
- ・収支は、▲99,210千円

【2021年（令和3年度）】

- ・中部横断自動車道 下部温泉早川-南部 開通（2021.8.29）
- ・新型コロナウイルス感染拡大予防対のため、2時間短縮営業
- ・開館人数 311日 入館者数 40,823人 日平均 131.3人
- ・収入は、入湯料 8,158千円・会議室使用料 0千円・受託販売等収入 1,053千円・土地貸付収入 13千円で、合計 9,224千円
- ・支出は、職員等人工費 25,636千円、施設管理費 48,793千円で、合計 74,429千円
- ・収支は、▲65,205千円

【2022年（令和4年度）】

- ・新型コロナウイルス感染拡大予防対のため、2時間短縮営業
- ・開館人数 309日 入館者数 49,865人 日平均 161.4人
- ・収入は、入湯料 10,321千円・会議室使用料 11千円・受託販売等収入 1,393千円・土地貸付収入 13千円で、合計 11,738千円
- ・支出は、職員等人工費 21,691千円、施設管理費 52,467千円で、合計 74,158千円
- ・収支は、▲62,420千円

【2023年(令和5年度)】

- ・新型コロナウイルス感染拡大予防対のため、2時間短縮営業、
- ・5類移行後、5月11日から通常の10時間営業
- ・燃料費高騰等により経費削減のため、令和6年1月9日以降、休館日の追加、2時間短縮営業
- ・レジオネラ属菌検出のため、浴室や配管洗浄のための令和6年2月19日～3月7日まで臨時休館
- ・開館人数 288日 入館者数 52,619人 日平均 182.7人
- ・収入は、入湯料 11,201千円・会議室使用料 20千円・受託販売等収入 1,526千円で、合計 12,747千円
- ・支出は、職員等人工費 22,372千円、施設管理費 63,135千円で、合計 85,508千円
- ・収支は、▲72,761千円

【2024年(令和6年度)】

- ・2時間短縮および週休2日として営業
- ・10月1日より料金改定
- ・開館人数 266日 入館者数 37,855人 日平均 142.3人
- ・収入は、入湯料 11,111千円・会議室使用料 14千円・受託販売等収入 1,374千円で、合計 12,499千円
- ・支出は、職員等人工費 22,646千円、施設管理費 47,138千円で、合計 69,784千円
- ・収支は、▲57,285千円

(3) 収支状況

表1 平成15年度から19年度収支

つむぎの湯収支状況 H15-H19						
		平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
		2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度
歳入合計 (A)		7,487	18,715	19,644	21,373	21,965
収入	1	入湯料	6,203	14,947	16,115	17,151
	2	その他	1,284	3,768	3,529	4,222
	3	会議室使用料	25	92	77	275
	4	受託・直接販売等収入	1,259	3,676	3,452	3,947
	5	土地貸付収入				4,214
歳出合計 (B)		23,472	68,600	65,743	65,209	74,414
支出	6	職員人件費等	4,918	13,020	14,430	9,205
	7	職員人件費 (H22まで按分)	3,615	8,255	9,665	7,580
	8	臨時職員 (H23から受付採用)	1,303	4,765	4,765	1,625
	9	施設管理費	18,554	55,580	51,313	56,004
	10	報償費				
	11	需用費	7,874	20,523	22,678	30,413
	12	消耗品	2,070	3,679	2,530	2,310
	13	燃料費	3,884	9,443	11,669	14,282
	14	食糧費				
	15	印刷製本費			263	136
	16	光熱水費	1,920	4,803	5,984	6,025
	17	修繕費		2,598	2,232	7,796
	20	役務費	268	664	446	535
	21	委託料	9,430	26,966	25,966	22,380
	22	使用料及び賃借料	864	2,034	2,223	2,649
	23	工事請負費		2,975		1,712
	24	財産購入費		1,600		
	25	原材料費	78	2		27
	26	公課費				
	27	備品購入費		196		
	28	負担金補助及び交付金	40			
	29	補償費		620		
財政支出 (B-A)		15,985	49,885	46,099	43,836	52,449

表2 平成20年度から25年度収支

つむぎの湯収支状況 H20-H24			平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
			2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
歳入合計 (A)			21,236	21,832	15,200	19,956	20,374
収入	1	入湯料	16,974	17,478	11,855	15,648	15,939
	2	その他	4,262	4,354	3,345	4,308	4,435
	3	会議室使用料	183	252	144	133	139
	4	受託・直接販売等収入	4,079	4,102	3,201	4,175	4,296
	5	土地貸付収入					
歳出合計 (B)			82,085	62,934	87,876	82,835	78,956
支出	6	職員人件費等	10,431	10,385	10,280	24,956	21,856
	7	職員人件費 (H22まで按分)	8,563	8,563	8,563	17,649	14,461
	8	臨時職員 (H23から受付採用)	1,868	1,822	1,717	7,307	7,395
	9	施設管理費	71,654	52,549	77,596	57,879	57,100
	10	報償費		90	90	120	571
	11	需用費	46,943	29,195	54,239	40,042	39,411
	12	消耗品	3,430	3,777	2,799	3,039	3,237
	13	燃料費	19,644	13,600	17,396	19,028	19,757
	14	食糧費		289	227	243	348
	15	印刷製本費	132	133	133	133	183
	16	光熱水費	6,701	6,779	6,294	7,325	7,639
	17	修繕費	17,036	4,617	27,390	10,274	8,247
	20	役務費	386	429	370	380	321
	21	委託料	21,697	21,964	21,630	15,708	15,354
	22	使用料及び賃借料	2,599	842	1,237	1,248	1,416
	23	工事請負費					
	24	財産購入費					
	25	原材料費	29	29	30	28	27
	26	公課費					
	27	備品購入費				353	
	28	負担金補助及び交付金					
	29	補償費					
財政支出 (B-A)			60,849	41,102	72,676	62,879	58,582

表3 平成25年度から平成29年度収支

つむぎの湯収支状況 H25-H29						
収入	支出	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
		歳入合計 (A)	19,368	19,227	19,317	19,235
収入	1	入湯料	15,152	15,219	15,250	15,915
	2	その他	4,216	4,008	4,067	3,320
	3	会議室使用料	193	129	138	134
	4	受託・直接販売等収入	4,023	3,879	3,782	3,039
	5	土地貸付収入			147	147
		歳出合計 (B)	81,846	89,146	85,111	85,103
支出	6	職員人件費等	21,718	14,497	23,525	15,728
	7	職員人件費 (H22まで按分)	14,469	6,491	15,987	8,177
	8	臨時職員 (H23から受付採用)	7,249	8,006	7,538	7,551
	9	施設管理費	60,128	74,649	61,586	69,375
	10	報償費	519	466	303	5
	11	需用費	42,947	49,622	42,214	29,500
	12	消耗品	2,189	2,753	2,596	2,251
	13	燃料費	22,424	21,043	14,768	13,771
	14	食糧費	348	348	348	6
	15	印刷製本費	133	213	139	136
	16	光熱水費	8,124	8,579	7,796	6,771
	17	修繕費	9,729	16,686	16,567	6,565
	20	役務費	286	319	248	351
	21	委託料	14,979	18,241	15,876	19,783
	22	使用料及び賃借料	1,368	1,421	1,379	1,432
	23	工事請負費		4,558	1,566	18,295
	24	財産購入費				
	25	原材料費	29	14	0	0
	26	公課費		8		9
	27	備品購入費				264
	28	負担金補助及び交付金				
	29	補償費				
		財政支出 (B-A)	62,478	69,919	65,794	65,868
						72,408

表4 平成30年度から令和4年度収支

つむぎの湯収支状況 H30-R4							
		平成30年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
歳入合計 (A)		17,034	17,825	888	9,224	11,738	
収入	1 入湯料	14,293	15,085	380	8,158	10,321	
	2 その他	2,741	2,740	508	1,066	1,417	
	3 会議室使用料	98	80	0	0	11	
	4 受託・直接販売等収入	2,619	2,647	495	1,053	1,393	
	5 土地貸付収入	24	13	13	13	13	
歳出合計 (B)		89,648	82,620	100,098	74,429	74,158	
支出	6 職員人件費等	23,599	26,558	25,469	25,636	21,691	
	7 職員人件費 (H22まで按分)	15,704	18,585	17,680	16,808	12,450	
	8 臨時職員 (H23から受付採用)	7,895	7,973	7,789	8,828	9,241	
	9 施設管理費	66,049	56,062	74,629	48,793	52,467	
	10 報償費	168	0	0	9		
	11 需用費	32,126	29,714	16,200	25,415	32,335	
	12 消耗品	2,331	2,846	1,496	1,808	1,801	
	13 燃料費	18,603	17,144	4,374	16,376	18,611	
	14 食糧費	167	124	46	61	78	
	15 印刷製本費	136	136	0	0	0	
	16 光熱水費	7,265	7,082	2,565	6,350	9,127	
	17 修繕費	3,624	2,382	7,719	820	2,718	
	20 役務費	278	347	239	389	290	
	21 委託料	20,976	15,606	11,186	13,343	14,210	
	22 使用料及び賃借料	1,485	1,679	1,365	2,355	2,389	
	23 工事請負費	11,016	8,716	45,639	7,282	3,243	
	24 財産購入費						
	25 原材料費						
	26 公課費						
	27 備品購入費						
	28 負担金補助及び交付金						
	29 補償費						
財政支出 (B-A)		72,614	64,795	99,210	65,205	62,420	

表5 令和5年度から令和6年度収支

		つむぎの湯収支状況 R5-R6	
		令和5年度	令和6年度
		2023年度	2024年度
歳入合計 (A)		12,747	12,499
収入	1 入湯料	11,201	11,111
	2 その他	1,546	1,388
	3 会議室使用料	20	14
	4 受託・直接販売等収入	1,526	1,374
	5 土地貸付収入	0	0
歳出合計 (B)		85,508	69,784
支出	6 職員人件費等	22,373	22,646
	7 職員人件費 (H22まで按分)	14,557	13,788
	8 臨時職員 (H23から受付採用)	7,816	8,858
	9 施設管理費	63,135	47,138
	10 報償費	94	0
	11 需用費	34,949	30,564
	12 消耗品	1,912	1,336
	13 燃料費	22,488	18,215
	14 食糧費	106	105
	15 印刷製本費	0	
	16 光熱水費	8,288	7,719
	17 修繕費	2,155	3,189
	20 役務費	373	375
	21 委託料	14,408	13,793
	22 使用料及び賃借料	2,366	2,406
	23 工事請負費	10,945	
	24 財産購入費		
	25 原材料費		
	26 公課費		
	27 備品購入費		
	28 負担金補助及び交付金		
	29 補償費		
財政支出 (B-A)		72,761	57,285

4 収支推移

(1) 収入

入湯料、会議室使用料、受託販売手数料等を含む「収入」は、平成 15 年度及び平成 22 年度の除く令和元年度までは、17,000 万円を上回って推移していたが、令和 2 年度以降は、新型コロナウイルス感染症の影響から低下し、5 類移行後もコロナ禍前の令和元度の利用人数までは回復しておらず、収入が伸び悩んでいる。

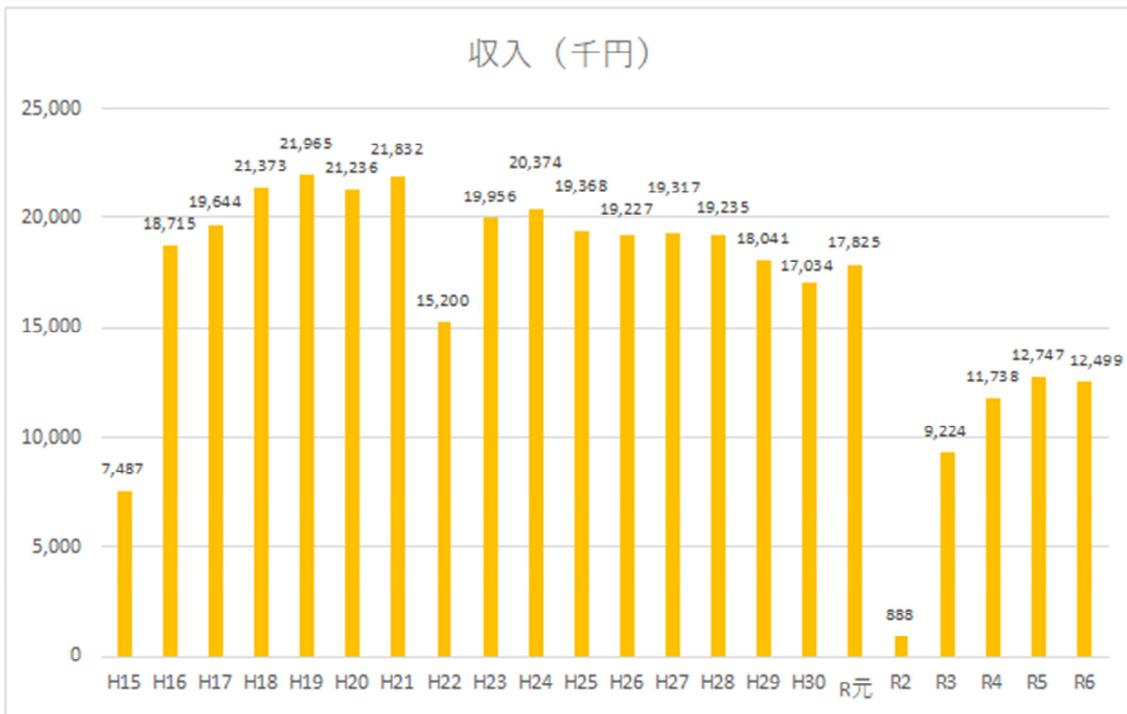


図 5 収入推移

- ※ 平成 15 年度は 11 月 10 日から開館のため、開館日数 119 日であった。
 - ※ 平成 20 年度は、温泉ポンプ孔内洗浄工事により、4~5 月まで源泉停止状態（沸かし湯による銭湯運営）であった。
 - ※ 平成 22 年度は、温泉ポンプ系統トラブルにより 6~3 月まで源泉停止状態（沸かし湯による銭湯運営）であった。
 - ※ 令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染拡大予防対策及び空調設備更新工事、施設内修繕により長期休館令和 3 月 12 日から営業再開、開館日数 17 日
 - ※ 令和 3、4 年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2 時間の短縮営業
 - ※ 令和 5 年度は、新型コロナウイルスの 5 類移行後、通常営業（10 時間営業）燃料費高騰等により経費削減のため、令和 6 年 1 月 9 日以降に、休館日の追加、2 時間短縮営業
- また、レジオネラ属菌の検出のため、浴室や配管洗浄のための令和 6 年 2 月 19 日～3 月 7 日まで臨時休館を行った

(2) 支出

燃料費、修繕費、光熱水費、委託料、工事請負費など「支出」は、平成 16 年度から令和 6 年度の 21 年間の年度平均は 79,836 万円であり、支出の年度平均の内訳は、人件費 1,853 万 (23.2%)、委託料 1,837 万円 (23.0%)、燃料費 1,650 万円 (20.7%)、修繕費・工事請負費 1,428 万円 (17.9%)、光熱水費 687 万 (8.6%) の順となっている。

源泉の湯量が豊富でないため、井水に頼っており、他の温泉施設に比べ燃料費の割合が高くなっている。ボイラーの燃料は灯油であり、灯油の使用量も多いことから、灯油単価が高騰の場合 2,000 万を超えていたり、複数あったりする年もある。

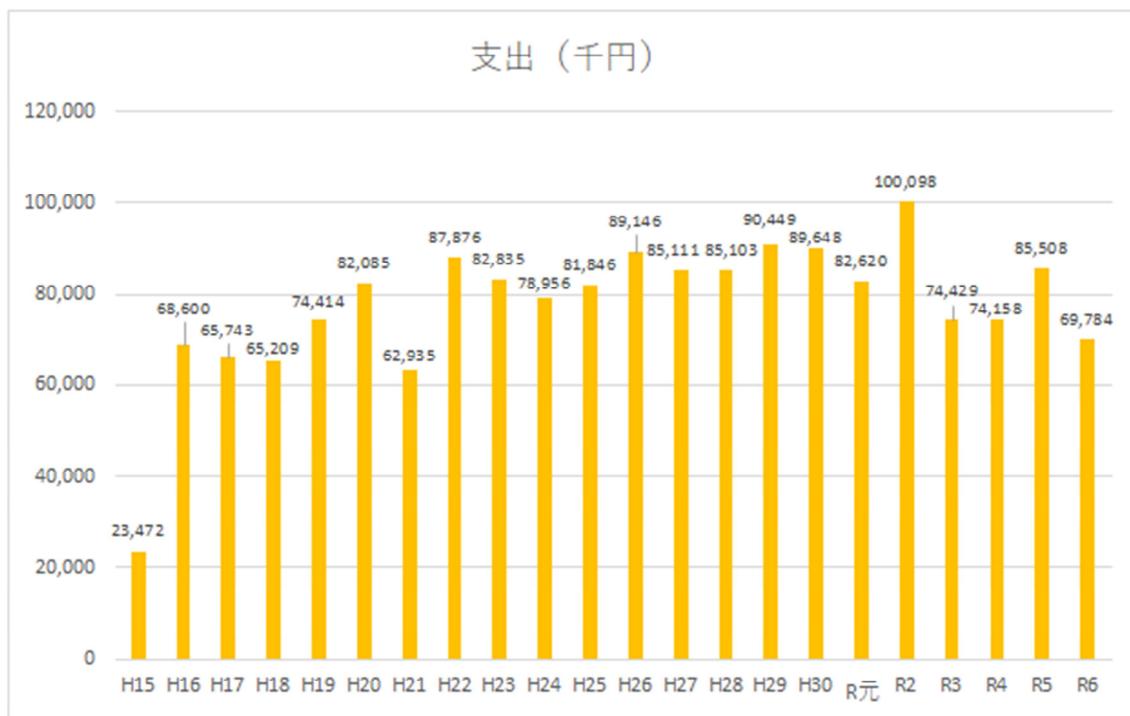


図 6 支出推移

(3) 収支

収入から支出を差し引いた「収支」について、初年度から令和6年度の22年間で、マイナスを計上している。

22年間平均で▲6,069万円と、年間6,000万円以上の赤字を計上している。

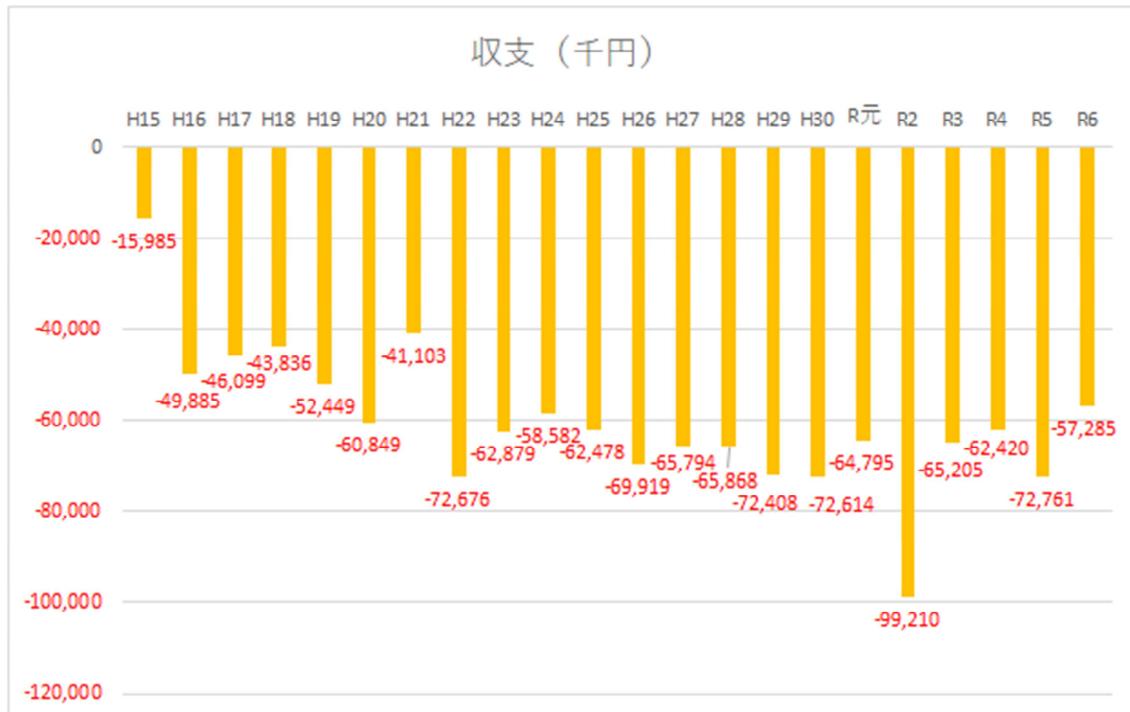


図7 収支推移

5 つむぎの湯・いきいきセンターの設備の状況～修繕費の推移

(1) 主要設備の耐用年数

六郷の里つむぎの湯・いきいきセンターの主要設備の耐用年数は次のとおりです。

表6 減価償却資産の耐用年数

種類	構造または用途	細目	耐用年数
建物	鉄骨鉄筋コンクリート造又は鉄筋コンクリート造のもの		50
建物附属設備	電気設備(照明設備を含む。)		15
	冷房、暖房 設備		15

(2) 主要設備の修理履歴

つむぎの湯・いきいきセンターの主要設備の修理履歴は次のとおりです。

表 7 修理履歴

番号	実施年度	工事・修繕内容	金額(円)
1	H16	温泉用水中ポンプ修繕工事	2,152,500
2	H17	温泉用深井戸水中ポンプ入替工事	1,302,000
3	H18	温泉水中ポンプオーバーホール及びケーブル取付	6,615,000
4	H19	温泉水中ポンプ入替及びオーバーホール	3,349,500
5		温泉水中ポンプ入替及びオーバーホール追加分	5,197,500
6	H20	温泉孔内更正及びポンプ入替	13,440,000
7		温泉水位センサー他取替	2,704,800
8	H21	温泉水中ポンプオーバーホール	2,782,500
9	H22	温泉水中ポンプ入替え及びオーバーホール	26,156,550
10	H23	つむぎの湯中央監視装置交換修理	1,155,000
11		温泉水中ポンプ入替及びオーバーホール	7,245,000
12	H24	温泉水中ポンプ入替及びオーバーホール	2,850,000
13	H25	井戸水中ポンプ交換	1,050,000
14		温泉水中ポンプ入替及びオーバーホール	7,035,000
15	H26	浴槽系循環ポンプ修繕	1,009,800
16		温泉水中ケーブル納品・修繕	5,832,000
17		温泉水中ポンプ入替及びオーバーホール	6,480,000
18		電気自動車急速充電器設置工事	4,247,640
19	H27	温泉水中ポンプ入替及びオーバーホール	6,372,000
20		濾過装置濾材取替及び装置内塗装	4,374,000
21		浴室壁面塗装及び浴槽タイル目地他修繕	1,944,000
22		追加改修(排煙オペレーター等臨時改修)	1,944,000
23		脱衣所(男女)床改修	1,566,000
24	H28	温泉ポンプ入替	1,620,000
25		中央監視装置更新	1,663,200
26		温泉水中ポンプ整備	16,632,000
27	H29	温泉水中ポンプ定期交換・整備	16,740,000
28	H30	温泉水中ポンプ入替及びオーバーホール	4,644,000
29		温泉水中ポンプモーター交換	1,080,000
30		自動制御シーケンサ更新工事	5,292,000
31	R元	温泉水中ポンプ整備工事	8,715,600
32	R2	浴室等照明器具改修工事	5,709,000
33		空調設備更新工事	15,970,000
34		空調設備更新工事(完成)	23,960,000
35	R3	温泉水中ポンプ整備工事	7,282,000
36	R4	PAS及び高圧ケーブル更新工事	1,647,800
37		水中井戸ポンプ定期交換工事	1,595,000
38	R5	温泉水中ポンプ整備工事	9,405,000
39		ガスセパレーターポンプ交換工事	1,540,000

(3) 修繕費・工事請負費の推移(実績)

修繕費・工事請負費の実績をみると、開館から 22 年間の合計で 2 億 9677 万円を修繕費・工事請負費として支出している。22 年間の年度平均 1,364 万円となっている。

大規模な修繕・及び工事請負費は次のとおりで

- ・平成 20 年年度に温泉孔内更生及びポンプ入替、温泉水位センサー他取替で 1,615 万円
- ・平成 22 年年度に温泉水中ポンプ入替及びオーバーホールで 2,616 万円
- ・平成 28 年度に温泉水中ポンプ整備で 1,664 万円
- ・平成 29 年度に温泉水中ポンプ定期交換及び整備で 1,674 万円
- ・令和 2 年度に空調整備更新工事で、3,993 万円

となっている。

温泉水中ポンプ入替及びオーバーホールについては平成 15 年度から平成 22 年度までは隔年実施、平成 23 年度から令和元年度までは毎年実施、令和元年度以降は隔年で実施している。

開館から 20 年以上を経過し、経年劣化による修繕や工事が増えてきている状況である。

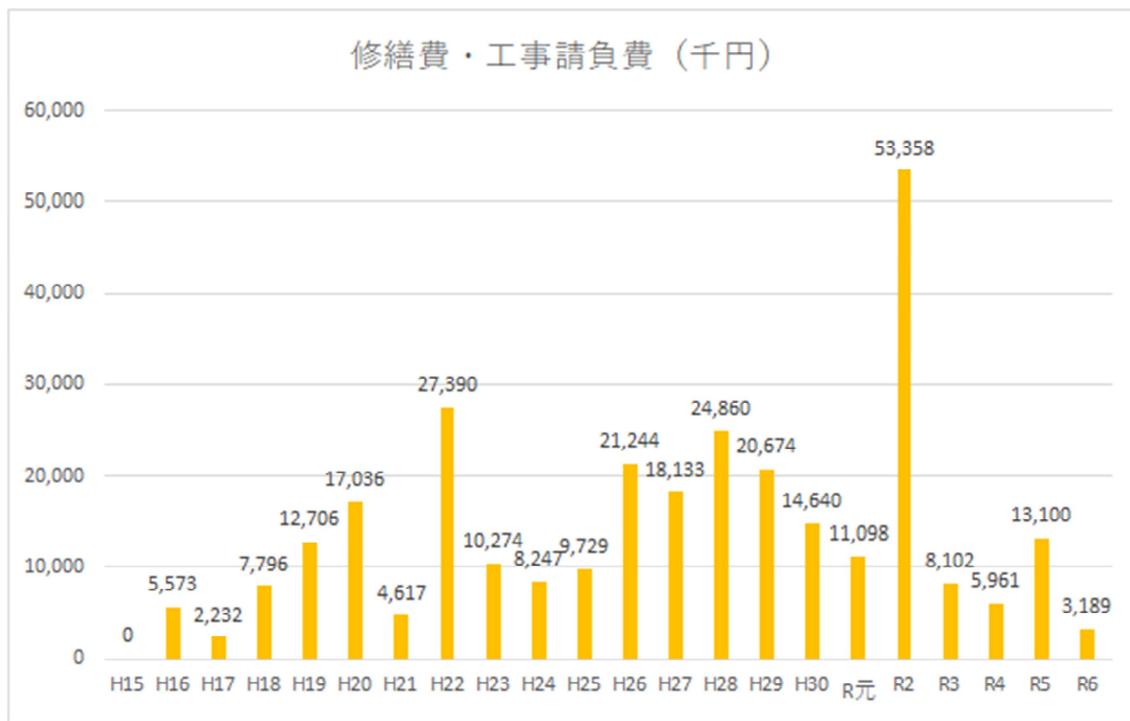


図 8 修繕費推移

(4) 今後の見込まれる修繕費・工事請負費

○事務室関係

- ・中央監視装置更新 … 概算 20,000,000 円

機械室のボイラー、循環機、滅菌装置をはじめ、源泉井戸ポンプとの連動系、館内の換気など全てを監視・制御しているコンピューター

現在、使用しているシステムの OS は Windows であり、新規販売終了後の機器保守期間を経過している状況である。

現行の監視システム OS は Linux に変わっており、システムの更新には全体的な更新が必要となり、工期は最低でも 3 ヶ月かかるとのことである。

過去には、平成 23 年度に中央監視装置更新、平成 28 年度に延命措置として監視システムの MCU 部とタッチパネル部分の交換をしている。

○機械室及び地下ピット関係

- ・フレキ及び取り付けボルト劣化部交換 … 1,500,000 円

経年劣化により、機械室や地下ピットにある各浴槽温泉補給系やジェット系などのフレキやボルトの交換が必要となってくる

- ・貯湯層（高温層）の漏水修理 … 見積もり中

貯湯層から漏水が発生しており、今後修繕が必要。

- ・機械室自動開閉シャッター修繕 … 547,800 円

経年劣化により、駆動部が故障しており、交換が必要

○温泉設備関係

- ・温泉水中ポンプ整備 … 概算 12,000,000 円

予備ポンプを含め、2 台のポンプを交互に入替えを行い、稼働を行っている。

現在のポンプは、平成 28、29 年度に整備したが、次回の入替え時はオーバーホールが出来ないとのことである。譲渡先が決まれば、ポンプ交換を行う予定であるが、その際は、予備ポンプがなくなるため、ポンプが故障した際または事前の整備が必要となる。（納期には、最低 6 ヶ月必要）

- ・ケーブル他 … 概算 10,000,000 円

経年劣化により、ポンプに接続するケーブルの交換が必要になってくる。

ポンプ整備時に必要となる。（ポンプ整備とセットで整備が必要）

- ・ポンプ交換費 … 2,500,000 円

温泉水中ポンプ入替及びオーバーホールについては平成 15 年度から平成 22 年度までは隔年実施、平成 23 年度から平成 31 年度までは毎年実施、平成 31 年度以降は隔年実施している。

- ・ポンプオーバーホール … 5,000,000 円

引き上げたポンプをオーバーホール。

※ 材料費等高騰しているため、各項目は上記より増額となる可能性があります。

6 運営実態

(1) つむぎの湯・いきいきセンターの運営実態

① 入館者数コロナ禍以前に回復していない。

平成 15 年の開館以来、令和元年度までは、開館年度の平成 15 年度と温泉系統ポンプのトラブルのあった平成 22 年度を除き入館者数は 6 万～8 万人台を確保していた。新型コロナウイルス感染拡大以降から 5 類に移行となった令和 2 年度から令和 5 年度までは、回復傾向はあるものの、コロナ禍以前の 5 カ年平均（平成 27 年度～平成 31 年度）72,183 人【23.7 人/h】に対し、令和 5 年度は 52,619 人【19.9 人/h (84.0%)】となっている。令和 6 年度は、休館日の追加、料金改定により 37,855 人【17.8 人/h (75.1%)】となっている。

② 収入は、燃料費に満たない

開館年度の平成 15 年度を除くコロナ禍以前の平成 16 年度から令和元年度の 16 年間の収入の年度平均は 1,939 万円となっており、平成 21 年度の 2,183 万円をピークに減少傾向にあった。また、新型コロナウイルス感染拡大以降は、コロナ禍以前には回復しておらず、コロナ禍以前の 5 カ年平均（平成 27 年度～平成 31 年度）1,829 万円に対し、令和 5 年度は 1,274 万円 (69.7%)、令和 6 年度は 1,111 万円 (60.7%) となっている。

③ 利用者 1 人当たりの単価は低迷

入湯料は、年度によって増減はあるものの、おおむね 175 円～230 円台で推移、その他の収入は、コロナ禍以前はおおむね 37 円～57 円台で推移、コロナ禍以降は 20 円台後半で推移しており、収入源は入湯料の依存度が高い。令和 6 年度は、10 月の料金改定により入湯料は 294 円となったが、入浴者数は減少となっており、入湯料の見直しや、他の収入源の確保が必要である。

④ 支出は 6,294 万円～1 億 1 万円台で推移

燃料費、修繕費、工事請負費など「支出」は、源泉の湧出量が豊富でなく、井水に頼っているため、灯油単価の高騰に伴う燃料費の増加や経年劣化による修繕費・工事請負費の増加などにより、増加傾向にある。また来館者数に係わらず施設の保守料等に係る固定費が大きい。

⑤ 修繕費は近年増加傾向

P37 の 5 つむぎの湯・いきいきセンターの設備の状況～修繕費の推移の（3）修繕費・工事請負費の推移(実績)に記載していますが、開館から 22 年間の合計で 2 億 9996 万円を修繕費・工事請負費として支出している。22 年間の年度平均

1,364万円となっている。開館から20年以上経過し、経年劣化による修繕や工事が増えてきている状況である。

(2) つむぎの湯・いきいきセンターの運営の課題

① 伸び悩む収入

来館者のコロナ以降の未回復、施設利用料収入の減少、入湯料以外の収入が弱い

② 削減できない支出

燃料費・修繕費・工事請負費の増加 ⇒ 支出の拡大